

4年生 理科巨大実験（2月18日）

4年生が理科の学習で、「もののあたたまり方」の学習をしています。その中の「空気の温まり方」の学習の発展として、気球をあげました。



理科の先生が準備されたもので、その名も「ガリバー4号」。空に舞うかな？という面持ちで子ども達も待ちます。



だんだんと空気が入ってきました。そこに太陽光で照らされた気球は、少しずつ浮いてきました。もっと上がってほしいな…という声も聞こえてきそうです。



おお！イメージしていたとおりに浮かんできました。太陽の熱って、改めてすごいと感じました。なぜか「ガリバー4号」を応援したくなってきました。



最終的に最高はこのあたりになりました。これ以上あがると下でひもを持っている者が耐えられなくなり、本当に飛んでいってしまいます。危険ですので、ここまでで…。

